

学校コード F122310106328

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

静岡理工科大学

理工学部

土木工学科

(必要がある場合) ○○専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人静岡理工科大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画室
職名・氏名	カキウ モチツキ トモノリ 課長 望月 知徳
電話番号	0538-45-0111
(夜間)	0538-45-0243
e-mail	kikaku@sist.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

理工学部

<土木工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人静岡理工科大学

(2) 大学名

静岡理工科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒437-8555
静岡県袋井市豊沢2200番地の2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハシモト シンペイ) 橋本 新平 (平成29年10月)	(スギウラ ヒロシ) 杉浦 哲 (令和4年6月)	理事長の交代(令和4年6月1日付)(5)
学長	(ノグチ ヒロシ) 野口 博 (平成26年4月)	(キムラ マサカズ) 木村 雅和 (令和4年4月)	学長の交代(令和4年4月1日付)(4)
学部長	(イシダ タカヒロ) 石田 隆弘 (平成31年4月)	(マルタ マコト) 丸田 誠 (令和5年4月)	学部長の交代(令和5年4月1日付)(5)
学科長等	(マツモト ケンサク) 松本 健作 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部、学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
理工学部 土木工学科 学士(工学)	工学関係	4年	50人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.44倍	一倍	0.44倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	162 []	142 []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	156 []	135 []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	119 []	109 []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	31 []	13 []			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.62	0.26							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	13	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[0]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	44	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	31 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	44 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{44} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学部 土木工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I類 (人間・文化科目)	フレッシュマンセミナー	1前	2			3	1					
	スポーツ1	1前	1									2
	Advanced English 1	1前		2								4
	General English 1	1前		2								4
	Advanced English 2	1後		2								4
	General English 2	1後		2								4
	Advanced English 3	2前		2								4
	General English 3	2前		2								4
	Advanced English 4	2後		2								4
	General English 4	2後		2								4
	文学	1前		2								1
	文化と文明	1後		2								1
	心理学	2前		2								1
	歴史学	2前		2								1
	現代生活論	3前		2								1
	芸術論	2後		2								1
	国際関係論	1前		2								1
	政治学	1後		2								1
	経済学	2前		2								1
	社会学	2後		2								1
	暮らしのなかの憲法	3前		2								1
	地域学	1後		1								1
	実践技術者講座	2前		1								1
	インターンシップ	3後		1								1
	就職準備ガイダンス	3前		1								1
	インターネットと情報倫理	1前		2								1
	建築の技術と文化	1後		2								3
	科学技術者の倫理	3後		2								1
	地球科学	2前		2								1
	スポーツ2	2後		1								1
	健康の科学	3前		2								3
	スポーツ3	2後		1								1
	スポーツ4	3前		1								1
	英語コミュニケーション	3前		2								1
	中国語1	1前		2								1
	韓国語1	1前		2								1
	中国語2	1後		2								1
	韓国語2	1後		2								1
	国際PBL	3後		1								1
	海外語学研修	1後		1								1
	特別共同講義	2後		2								1
	特別集中講義	2後		2								1
	地域実践活動	2後		1								1
	理工系教養の英語	1前		2								1
	理工系教養の課題研究	1前		2								1
	日本語表現法	1前		2								1
小計(46科目)	—		3	78	0	3	1	0	0	0	31	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I類 (人間・文化科目)	フレッシュマンセミナー	1前	2				4	3				
	スポーツ1	1前	1									2
	Advanced English 1	1前		2								2
	General English 1	1前		2								5
	Advanced English 2	1後		2								2
	General English 2	1後		2								5
	Advanced English 3	2前		2								1
	General English 3	2前		2								3
	Advanced English 4	2後		2								1
	General English 4	2後		2								3
	文学	1前		2								1
	文化と文明	1後		2								1
	心理学	2前		2								1
	歴史学	2前		2								1
	現代生活論	3前		2								1
	芸術論	2後		2								1
	国際関係論	1前		2								1
	政治学	1後		2								1
	経済学	2前		2								1
	社会学	2後		2								1
	暮らしのなかの憲法	3前		2								1
	地域学	1後		1								1
	実践技術者講座	2前		1				1				
	インターンシップ	3後		1								1
	就職準備ガイダンス	3前		1								1
	インターネットと情報倫理	1前		2								1
	建築の技術と文化	1後		2								3
	科学技術者の倫理	3後		2								1
	地球科学	2前		2								1
	スポーツ2	2後		1								1
	健康の科学	3前		2								3
	スポーツ3	2後		1								1
	スポーツ4	3前		1								1
	英語コミュニケーション	3前		2								1
	中国語1	1前		2								1
	韓国語1	1前		2								1
	中国語2	1後		2								1
	韓国語2	1後		2								1
	国際PBL	3後		1								1
	海外語学研修	1後		1								1
	特別共同講義	2後		2								1
	特別集中講義	2後		2								1
	地域実践活動	2後		1								1
	理工系教養の英語	1前		2								1
	理工系教養の課題研究	1前		2								1
	日本語表現法	1前		2								1
小計(46科目)	—		3	78	0	4	3	0	0	0	35	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
Ⅱ類 (学部共通 専門基礎科目)	基礎数学	1前			3							2
	微分積分/演習	1前		3								1
	微分積分/演習A	1後		3								1
	微分積分/演習B	1後		3								1
	線形代数/演習	1前		3								1
	応用数学	1後		2								1
	微分方程式	2前		2								1
	ベクトル解析	2前		2								1
	理工系教養の数学	1後		2								1
	物理学1	1後		2								1
	化学	1後		2								1
	生物学	1後		2							2	2
	物理学2	2前		2								1
	コンピュータ入門	1前	1									1
	プログラミング入門	1後		1								1
	コンピュータ構成概論	1後		2								1
	データサイエンス概論	2前		2								1
	プログラミング応用	2前		1								1
	科学実験1	1前		1								1
	科学実験2	1前		1								1
	環境化学	1後		2								1
	工業材料とその性質	2後		2								1
	環境と新エネルギー	3前		2								1
	品質工学入門	3後		2								1
	財務システム入門	3後		2								3
小計(25科目)	-	1	46	3	0	0	0	0	0	0	26	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
Ⅱ類 (学部共通 専門基礎科目)	基礎数学	1前			3							2
	微分積分/演習	1前		3								1
	微分積分/演習A	1後		3								1
	微分積分/演習B	1後		3								1
	線形代数/演習	1前		3								2
	応用数学	1後		2								1
	微分方程式	2前		2								1
	ベクトル解析	2前		2								1
	理工系教養の数学	1後		2								1
	物理学1	1後		2								1
	化学	1後		2								1
	生物学	1後		2							2	2
	物理学2	2前		2								1
	コンピュータ入門	1前	1									1
	プログラミング入門	1後		1								1
	コンピュータ構成概論	1後		2								1
	データサイエンス概論	2前		2				1				1
	プログラミング応用	2前		1								2
	科学実験1	1前		1								1
	科学実験2	1前		1								1
	環境化学	1後		2								1
	工業材料とその性質	2後		2								1
	環境と新エネルギー	3前		2								1
	品質工学入門	3後		2								1
	財務システム入門	3後		2								3
小計(25科目)	-	1	46	3	1	0	0	0	0	0	24	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
Ⅲ類(学科専門科目)	土木工学概論	1前	2			3	1						
	土木工学数理演習	1前	2				1						
	測量学	1後	2			1							
	測量実習	2前	1			5	3						
	土木工学実験1	2前	2			1	1						
	土木工学実験2	2後	2			2							
	卒業研究1	4前	2			5	3						
	卒業研究2	4後	2			5	3						
	地球災害プロジェクト	1後	2			2							
	減災社会デザインプロジェクト	2前	2			1	1						
	静岡防災まちづくりプロジェクト	3前	2				2						
	建設材料工学	2前	2			1							
	コンクリート構造	2後	2			1							
	土質力学	2前	2			1							
	土質力学演習	2後	2			1							
	水理学	2前	2			1							
	水理学演習	2後	2			1							
	構造力学	2前	2			1							
	構造力学演習	2後	2			1							
	土木計画学	2後	2				1						
	土木計画学演習	3前	2				1						
	インフラネットワーク	3後		2		2							
	維持管理工学	3前		2		1							
	耐震工学	3後		2								1	
	地盤工学	3前		2		2							
	土地地質学	3後		2		1							
	流体理論	3前		2		1							
	海岸工学	3後		2			1						
	災害メカニズム	3後		2		2							
	構造デザイン	3前		2		1							
	インフラマネジメント論	3後		2			1						
	モビリティデザイン	3前		2			1						
	運輸施設工学	3後		2								1	
	環境工学	3前		2								1	
	環境保全工学	4前		2								1	
小計(35科目)	-		41	28	0	5	3	0	0	0	4		
合計(106科目)	-		45	152	3	5	3	0	0	0	61		
卒業要件及び履修方法													
Ⅰ類(人間・文化科目)から、必修科目3単位、選択必修科目8単位(※1参照)選択科目12単位以上、Ⅱ類(学部共通専門基礎科目)から、必修科目1単位、選択必修科目3単位(※2参照)、選択科目8単位以上、Ⅲ類(学科専門科目)から、必修科目41単位、選択科目18単位以上を修得し、その他に科目区分関係なく30単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:半期24単位)													
※1: Advanced English 1かGeneral English 1で2単位、Advanced English 2かGeneral English 2で2単位、Advanced English 3かGeneral English 3で2単位、Advanced English 4かGeneral English 4で2単位の計8単位を選択必修とする													
※2: 微分積分/演習か微分積分/演習Aもしくは微分積分/演習Bの中から3単位を選択必修とする													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
Ⅲ類(学科専門科目)	土木工学概論	1前	2			3	1						
	土木工学数理演習	1前	2						2				
	測量学	1後	2						2				
	測量実習	2前	1						4	3			
	土木工学実験1	2前	2						1	1			
	土木工学実験2	2後	2						2				
	卒業研究1	4前	2						5	3			
	卒業研究2	4後	2						5	3			
	地球災害プロジェクト	1後	2						2				
	減災社会デザインプロジェクト	2前	2						1	1			
	静岡防災まちづくりプロジェクト	3前	2							2			
	建設材料工学	2前	2						1				
	コンクリート構造	2後	2						1				
	土質力学	2前	2						1				
	土質力学演習	2後	2						1				
	水理学	2前	2						1				
	水理学演習	2後	2						1	1			
	構造力学	2前	2						1				
	構造力学演習	2後	2						1				
	土木計画学	2後	2							1			
	土木計画学演習	3前	2							1			
	インフラネットワーク	3後		2		2							
	維持管理工学	3前		2		1							
	耐震工学	3後		2									1
	地盤工学	3前		2		2							
	土地地質学	3後		2		1							
	流体理論	3前		2		1							
	海岸工学	3後		2			1						
	災害メカニズム	3後		2		2							
	構造デザイン	3前		2		1							
	インフラマネジメント論	3後		2			1						
	モビリティデザイン	3前		2			1						
	運輸施設工学	3後		2									1
	環境工学	3前		2									1
	環境保全工学	4前		2									1
小計(35科目)	-		41	28	0	5	3	0	0	0	4		
合計(106科目)	-		45	152	3	5	3	0	0	0	62		
卒業要件及び履修方法													
Ⅰ類(人間・文化科目)から、必修科目3単位、選択必修科目8単位(※1参照)選択科目12単位以上、Ⅱ類(学部共通専門基礎科目)から、必修科目1単位、選択必修科目3単位(※2参照)、選択科目8単位以上、Ⅲ類(学科専門科目)から、必修科目41単位、選択科目18単位以上を修得し、その他に科目区分関係なく30単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:半期24単位)													
※1: Advanced English 1かGeneral English 1で2単位、Advanced English 2かGeneral English 2で2単位、Advanced English 3かGeneral English 3で2単位、Advanced English 4かGeneral English 4で2単位の計8単位を選択必修とする													
※2: 微分積分/演習か微分積分/演習Aもしくは微分積分/演習Bの中から3単位を選択必修とする													

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I類 (人間・文化科目)	フレッシュマンセミナー	1前	2			3	1					2
	スポーツ1	1前	1									2
	Advanced English 1	1前		2								2
	General English 1	1前		2								5
	Advanced English 2	1後		2								2
	General English 2	1後		2								4
	Advanced English 3	2前		2								4
	General English 3	2前		2								4
	Advanced English 4	2後		2								4
	General English 4	2後		2								4
	文学	1前		2								1
	文化と文明	1後		2								1
	心理学	2前		2								1
	歴史学	2前		2								1
	現代生活論	3前		2								1
	芸術論	2後		2								1
	国際関係論	1前		2								1
	政治学	1後		2								1
	経済学	2前		2								1
	社会学	2後		2								1
	暮らしのなかの憲法	3前		2								1
	地域学	1後		1								1
	実践技術者講座	2前		1								1
	インターンシップ	3後		1								1
	就職準備ガイダンス	3前		1								1
	インターネットと情報倫理	1前		2								1
	建築の技術と文化	1後		2								3
	科学技術者の倫理	3後		2								1
	地球科学	2前		2								1
	スポーツ2	2後		1								1
	健康の科学	3前		2								3
	スポーツ3	2後		1								1
	スポーツ4	3前		1								1
	英語コミュニケーション	3前		2								1
	中国語1	1前		2								1
	韓国語1	1前		2								1
	中国語2	1後		2								1
	韓国語2	1後		2								1
	国際PBL	3後		1								1
	海外語学研修	1後		1								1
	特別共同講義	2後		2								1
	特別集中講義	2後		2								1
	地域実践活動	2後		1								1
	理工系教養の英語	1前		2								1
	理工系教養の課題研究	1前		2								1
	日本語表現法	1前		2								1
小計(46科目)	—	3	78	0	3	1	0	0	0		33	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
Ⅱ 類 (学 部 共 通 専 門 基 礎 科 目)	基礎数学	1前			3							2
	微分積分/演習	1前		3								1
	微分積分/演習A	1後		3								1
	微分積分/演習B	1後		3								1
	線形代数/演習	1前		3								1
	応用数学	1後		2								1
	微分方程式	2前		2								1
	ベクトル解析	2前		2								1
	理工系教養の数学	1後		2								1
	物理学1	1後		2								1
	化学	1後		2								1
	生物学	1後		2								2
	物理学2	2前		2								1
	コンピュータ入門	1前	1									1
	プログラミング入門	1後		1								1
	コンピュータ構成概論	1後		2								1
	データサイエンス概論	2前		2								1
	プログラミング応用	2前		1								1
	科学実験1	1前		1								1
	科学実験2	1前		1								1
	環境化学	1後		2								1
	工業材料とその性質	2後		2								1
	環境と新エネルギー	3前		2								1
	品質工学入門	3後		2								1
	財務システム入門	3後		2								3
小計(25科目)	-		1	46	3	0	0	0	0	0	0	24

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
Ⅲ類(学科専門科目)	土木工学概論	1前	2			3	1					
	土木工学数理演習	1前	2				1					
	測量学	1後	2			2						
	測量実習	2前	1			5	3					
	土木工学実験1	2前	2			1	1					
	土木工学実験2	2後	2			2						
	卒業研究1	4前	2			5	3					
	卒業研究2	4後	2			5	3					
	地球災害プロジェクト	1後	2			2						
	減災社会デザインプロジェクト	2前	2			1	1					
	静岡防災まちづくりプロジェクト	3前	2				2					
	建設材料工学	2前	2			1						
	コンクリート構造	2後	2			1						
	土質力学	2前	2			1						
	土質力学演習	2後	2			1						
	水理学	2前	2			1						
	水理学演習	2後	2			1						
	構造力学	2前	2			1						
	構造力学演習	2後	2			1						
	土木計画学	2後	2				1					
	土木計画学演習	3前	2				1					
	インフラネットワーク	3後		2		2						
	維持管理工学	3前		2		1						
	耐震工学	3後		2							1	
	地盤工学	3前		2		2						
	土地地質学	3後		2		1						
	流体理論	3前		2		1						
	海岸工学	3後		2			1					
	災害メカニズム	3後		2		2						
	構造デザイン	3前		2		1						
	インフラマネジメント論	3後		2			1					
	モビリティデザイン	3前		2			1					
	運輸施設工学	3後		2							1	
	環境工学	3前		2							1	
	環境保全工学	4前		2							1	
小計(35科目)	-		41	28	0	5	3	0	0	0	4	
合計(106科目)	-		45	152	3	5	3	0	0	0	61	
卒業要件及び履修方法												
Ⅰ類(人間・文化科目)から、必修科目3単位、選択必修科目8単位(※1参照)選択科目12単位以上、Ⅱ類(学部共通専門基礎科目)から、必修科目1単位、選択必修科目3単位(※2参照)、選択科目8単位以上、Ⅲ類(学科専門科目)から、必修科目41単位、選択科目18単位以上を修得し、その他に科目区分関係なく30単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:半期24単位)												
※1: Advanced English 1かGeneral English 1で2単位、Advanced English 2かGeneral English 2で2単位、Advanced English 3かGeneral English 3で2単位、Advanced English 4かGeneral English 4で2単位の計8単位を選択必修とする												
※2: 微分積分/演習か微分積分/演習Aもしくは微分積分/演習Bの中から3単位を選択必修とする												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・担当科目の見直しのため、「Advanced English 1」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「General English 1」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・担当科目の見直しのため、「Advanced English 2」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「測量学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。

【令和5年度】

- ・初年次の導入科目を学科の専任教員全員で担当する理由により、「フレッシュマンセミナー」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1」から「教授4、准教授3」に変更。
- ・担当科目の見直しのため、「Advanced English 3」「Advanced English 4」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
- ・担当科目の見直しのため、「General English 3」「General English 4」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・担当科目の見直しのため、「実践技術者講座」「データサイエンス概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「線形代数/演習」「プログラミング応用」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「土木工学数理演習」「土木計画学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当科目の見直しのため、「測量実習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3」から「教授4、准教授3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「水理学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	81 科目	1 科目	106 科目	24 科目 [0]	81 科目 [0]	1 科目 [0]	106 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>該当なし</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{106} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新設学科校舎の設計変更による実績値 (5)			
	校舎敷地	68,839㎡ 68,035㎡	0㎡	0㎡	68,839㎡ 68,035㎡				
	運動場用地	24,611㎡	0㎡	0㎡	24,611㎡				
	小 計	93,450㎡ 92,646㎡	0㎡	0㎡	93,450㎡ 92,646㎡				
	そ の 他	110,851㎡ 111,655㎡	0㎡	0㎡	110,851㎡ 111,655㎡				
	合 計	204,301㎡	0㎡	0㎡	204,301㎡				
(2) 校 舎	専 用	31,122㎡ 31,114㎡	0㎡	0㎡	31,122㎡ 31,114㎡	新設学科校舎の設計変更による実績値 (5)			
	(31,122㎡) (27,343㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(31,122㎡) (27,343㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	2 3 室 2-6 室	演 習 室	1 6 室 7 室	実験実習室	1 2 8 室 1-1 6 室	情報処理学習施設 5 室 4 室 (補助職員 人)	語学学習施設 1 室 (補助職員 人)	教室の改修計画の変更による実績値 (5)
	新設学部等の名称				室 数				
(4) 専任教員研究室				理工学部 土木工学科		8 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・視聴覚資料は購入計画の見直しにより減少 (4) 学術雑誌は購入計画の見直しにより増加 (4) 図書・学術雑誌・視聴覚資料は購入計画の見直しにより増加 (5)	
	理工学部 土木工学科	1,999 [199] (1,403 [78]) (1,055 [46]) (1,333 [133])	20 [10] (25 [5]) (18 [3]) (16 [8])	4 [4] (5 [5]) (3 [3])	2,800 (2,504) (2,470) (2,600)	—	—		
	計	1,999 [199] (1,403 [78]) (1,055 [46]) (1,333 [133])	20 [10] (25 [5]) (18 [3]) (16 [8])	4 [4] (5 [5]) (3 [3])	2,800 (2,504) (2,470) (2,600)	—	—		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	1,672㎡		254		124,324				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,217㎡		テ ニ ス コ ー ト 3 面 ト レ ー ニ ン グ 室						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度		
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	550 千 円	550 千 円	図 書 購 入 費	7,060 千 円	1,930 千 円	850 千 円	
	共 同 研 究 費 等	1,700 千 円	1,700 千 円	設 備 購 入 費	80,000 千 円	80,000 千 円	80,000 千 円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,540 千 円	1,250 千 円	1,260 千 円	1,270 千 円	— 千 円	— 千 円		
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		静岡理科大学							平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	-	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
理工学部	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度					
土木工学科	4	310	-	1080	-	0.80	-	0.75	-	-	平成3	-				
機械工学科	4	50	-	100	学士(工学)	0.44	-	0.44	-	-	令和4	静岡県袋井市豊沢2200番地の2				
電気電子工学科	4	80	-	305	学士(工学)	0.72	-	0.71	-	令和5	平成3	同上	令和5年度から入学定員変更(75→80)			
物質生命科学科	4	70	-	250	学士(工学)	0.85	-	0.79	-	令和5	平成3	同上	令和5年度から入学定員変更(60→70)			
建築学科	4	60	-	225	学士(理学)	0.86	-	0.80	-	令和5	平成3	同上	令和5年度から入学定員変更(55→60)			
建築学科	4	50	-	200	学士(工学)	0.91	-	0.88	-	-	平成29	同上				
情報学部	4	140	-	530	-	0.99	-	1.01	0.98	-	平成20	-	令和5年度から入学定員変更(130→140)			
コンピュータシステム学科	4	70	-	250	学士(情報学)	-	-	1.15	1.13	令和5	平成20	静岡県袋井市豊沢2200番地の2	令和5年度から入学定員変更(60→70)			
情報デザイン学科	4	70	-	280	学士(情報学)	-	-	0.89	-	-	平成20	同上	※情報学部は学部で一括募集し2年進級時に学科配属を行う。			
大学全体	4	450	-	1610	-	0.86	-	0.84	-	令和5	平成3	-	令和5年度から入学定員変更(420→450)			

大学の名称		静岡理科大学大学院							平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	-	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	2	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	-	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
理工学研究科	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度					
システム工学専攻	2	25	-	50	-	1.78	-	1.82	-	-	平成8	-				
システム工学専攻	2	15	-	30	修士(理工学) 修士(情報工学)	2.16	-	2.26	-	-	平成8	静岡県袋井市豊沢2200番地の2				
材料科学専攻	2	10	-	20	修士(理工学) 修士(情報工学)	1.20	-	1.15	-	-	平成8	同上				
大学院全体	-	25	-	50	-	1.78	-	1.82	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 土木工学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	松本 健作 (52) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 測量学 測量実習 卒業研究1 卒業研究2 地球災害プロジェクト 水理学 水理学演習 流体理論 災害メカニズム	専任	教授	松本 健作 (52) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 測量学 測量実習 卒業研究1 卒業研究2 地球災害プロジェクト 水理学 水理学演習 流体理論 災害メカニズム	専任	教授	松本 健作 (53) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 測量学 測量実習 卒業研究1 卒業研究2 地球災害プロジェクト 水理学 水理学演習 流体理論 災害メカニズム	専任	教授		
専任	教授	富永 知徳 (56) <令和5年4月> 博士(工学)	測量実習 土木工学実験2 卒業研究1 卒業研究2 構造力学 構造力学演習 インフラネットワーク 構造デザイン	専任	教授	富永 知徳 (56) <令和5年4月> 博士(工学)	測量実習 土木工学実験2 卒業研究1 卒業研究2 構造力学 構造力学演習 インフラネットワーク 構造デザイン	専任	教授	富永 知徳 (56) <令和5年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 測量実習 土木工学実験2 卒業研究1 卒業研究2 構造力学 構造力学演習 インフラネットワーク 構造デザイン	専任	教授		
専任	教授	足立 雅樹 (55) <令和5年4月> 博士(工学)	測量実習 卒業研究1 卒業研究2 減災社会デザインプロジェクト 土質力学演習 地盤工学 土木地質学	専任	教授	足立 雅樹 (55) <令和5年4月> 博士(工学)	測量実習 卒業研究1 卒業研究2 減災社会デザインプロジェクト 土質力学演習 地盤工学 土木地質学	専任	教授	足立 雅樹 (55) <令和5年4月> 博士(工学)	測量実習 卒業研究1 卒業研究2 減災社会デザインプロジェクト 土質力学演習 地盤工学 土木地質学	専任	教授		
専任	教授	中澤 博志 (50) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 測量実習 土木工学実験1 卒業研究1 卒業研究2 地球災害プロジェクト 土質力学 地盤工学 災害メカニズム	専任	教授	中澤 博志 (50) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 測量実習 土木工学実験1 卒業研究1 卒業研究2 地球災害プロジェクト 土質力学 地盤工学 災害メカニズム	専任	教授	中澤 博志 (51) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 実務技術者講座 データサイエンス概論 土木工学概論 測量学 測量実習 土木工学実験1 卒業研究1 卒業研究2 地球災害プロジェクト 減災社会デザインプロジェクト 土質力学 地盤工学 災害メカニズム	専任	教授		
専任	教授	西田 孝弘 (47) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 測量実習 土木工学実験2 卒業研究1 卒業研究2 建設材料工学 コンクリート構造 インフラネットワーク 維持管理工学	専任	教授	西田 孝弘 (47) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 測量実習 土木工学実験2 卒業研究1 卒業研究2 建設材料工学 コンクリート構造 インフラネットワーク 維持管理工学	専任	教授	西田 孝弘 (48) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 測量実習 土木工学実験2 卒業研究1 卒業研究2 建設材料工学 コンクリート構造 インフラネットワーク 維持管理工学	専任	教授		
専任	准教授	松本 美紀 (45) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 土木工学数理演習 測量実習 卒業研究1 卒業研究2 静岡防災まちづくりプロジェクト 土木計画学 インフラマネジメント論	専任	准教授	松本 美紀 (45) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 土木工学数理演習 測量実習 卒業研究1 卒業研究2 静岡防災まちづくりプロジェクト 土木計画学 インフラマネジメント論	専任	准教授	松本 美紀 (46) <令和4年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学概論 土木工学数理演習 測量実習 卒業研究1 卒業研究2 静岡防災まちづくりプロジェクト 土木計画学 インフラマネジメント論	専任	准教授		
専任	准教授	鈴木 一史 (42) <令和5年4月> 博士(工学)	測量実習 卒業研究1 卒業研究2 静岡防災まちづくりプロジェクト 土木計画学演習 モビリティデザイン	専任	准教授	鈴木 一史 (42) <令和5年4月> 博士(工学)	測量実習 卒業研究1 卒業研究2 静岡防災まちづくりプロジェクト 土木計画学演習 モビリティデザイン	専任	准教授	鈴木 一史 (42) <令和5年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 土木工学数理演習 測量実習 卒業研究1 卒業研究2 静岡防災まちづくりプロジェクト 土木計画学演習 モビリティデザイン	専任	准教授		
専任	准教授	居波 智也 (41) <令和5年4月> 博士(工学)	測量実習 土木工学実験1 卒業研究1 卒業研究2 減災社会デザインプロジェクト 海岸工学	専任	准教授	居波 智也 (41) <令和5年4月> 博士(工学)	測量実習 土木工学実験1 卒業研究1 卒業研究2 減災社会デザインプロジェクト 海岸工学	専任	准教授	居波 智也 (41) <令和5年4月> 博士(工学)	フレッシュマンセミナー 測量実習 土木工学実験1 卒業研究1 卒業研究2 減災社会デザインプロジェクト 水理学演習 海岸工学	専任	准教授		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	秋山 憲治 (65) (高) <令和4年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	秋山 憲治 (65) (高) <令和4年4月> 博士(人間科学)	兼任	教授	秋山 憲治 (66) (高) <令和4年4月> 博士(人間科学)			
		現代生活論 社会学			現代生活論 社会学			現代生活論 社会学			
兼任	教授	石田 隆弘 (57) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	石田 隆弘 (57) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授				
		地域学 特別集中講義			地域学 特別集中講義						
兼任	教授	大楢 弘順 (63) <令和4年4月> 理学博士	兼任	教授	大楢 弘順 (63) <令和4年4月> 理学博士	兼任	教授	大楢 弘順 (64) <令和4年4月> 理学博士			
		生物学			生物学			生物学			
兼任	教授	奥村 哲 (51) <令和4年4月> 博士(理学)									
		生物学									
兼任	教授	太田 達見 (62) (高) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	太田 達見 (62) (高) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	太田 達見 (63) (高) <令和4年4月> 博士(工学)			
		建築の技術と文化			建築の技術と文化			建築の技術と文化			
兼任	教授	小栗 勝也 (57) <令和4年4月> 修士(法学)	兼任	教授	小栗 勝也 (57) <令和4年4月> 修士(法学)	兼任	教授	小栗 勝也 (58) <令和4年4月> 修士(法学)			
		歴史学 政治学 特別共同講義			歴史学 政治学 特別共同講義			歴史学 政治学 特別共同講義			
兼任	特命講師	加藤 智久 (66) <令和4年4月> 工学士	兼任	特命講師	加藤 智久 (66) <令和4年4月> 工学士	兼任	特命講師	加藤 智久 (67) <令和4年4月> 工学士			
		理工系教養の数学			理工系教養の数学			微分積分/演習A 理工系教養の数学			
兼任	教授	感本 広文 (54) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	感本 広文 (54) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	感本 広文 (55) <令和4年4月> 博士(工学)			
		実践技術者講座 就職準備ガイダンス			実践技術者講座 就職準備ガイダンス			実践技術者講座 就職準備ガイダンス			
兼任	教授	水野 信也 (46) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	水野 信也 (46) <令和4年4月> 博士(工学)						
		データサイエンス概論			データサイエンス概論						
兼任	教授	関山 秀雄 (66) (高) <令和4年4月> 博士(理学)									
		応用数学									
兼任	教授	笠谷 祐史 (61) <令和4年4月> 理学博士	兼任	教授	笠谷 祐史 (61) <令和4年4月> 理学博士	兼任	教授	笠谷 祐史 (62) <令和4年4月> 理学博士			
		物理学2			物理学2			物理学2			
兼任	教授	佐藤 彰 (62) (高) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	佐藤 彰 (62) (高) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	佐藤 彰 (63) (高) <令和4年4月> 博士(工学)			
		環境と新エネルギー			環境と新エネルギー			プログラミング応用 環境と新エネルギー			
兼任	教授	佐藤 健司 (63) (高) <令和4年4月> 工学修士	兼任	教授	佐藤 健司 (63) (高) <令和4年4月> 工学修士	兼任	教授	佐藤 健司 (64) (高) <令和4年4月> 工学修士			
		建築の技術と文化 国際PBL 海外語学研修			建築の技術と文化 国際PBL 海外語学研修			建築の技術と文化 国際PBL 海外語学研修			
兼任	教授	友次 克子 (59) <令和4年4月> 文学修士	兼任	教授	友次 克子 (59) <令和4年4月> 文学修士	兼任	教授	友次 克子 (60) <令和4年4月> 文学修士			
		Advanced English 1 General English 1 Advanced English 2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4			Advanced English-1 General English 1 Advanced English-2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4			Advanced English-1 General English 1 Advanced English-2 General English 2 Advanced English-3 General English 3 Advanced English-4 General English 4			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	教授	富田 寿人 (62) <令和4年4月> 体育学修士	兼任	教授	富田 寿人 (62) <令和4年4月> 体育学修士	兼任	教授	富田 寿人 (63) <令和4年4月> 体育学修士			
	スポーツ1 スポーツ2 スポーツ3 スポーツ4 健康の科学 地域実践活動			スポーツ1 スポーツ2 スポーツ3 スポーツ4 健康の科学 地域実践活動			スポーツ1 スポーツ2 スポーツ3 スポーツ4 地場学 健康の科学 特別集中講義 健康の科学 地域実践活動				
兼任	教授	十朱 享 (55) <令和4年4月> 学術博士	兼任	教授	十朱 享 (55) <令和4年4月> 学術博士	兼任	教授	十朱 享 (56) <令和4年4月> 学術博士			
	科学実験1 科学実験2			科学実験1 科学実験2			特別共同講義 科学実験1 科学実験2				
兼任	教授	丸田 誠 (63)(高) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	丸田 誠 (63)(高) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	丸田 誠 (64)(高) <令和4年4月> 博士(工学)			
	建築の技術と文化			建築の技術と文化			建築の技術と文化				
兼任	教授	三林 雅彦 (60) <令和4年4月> 博士(工学)									
	線形代数/演習										
兼任	教授	野崎 孝志 (61) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	野崎 孝志 (61) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	教授	野崎 孝志 (62) <令和4年4月> 博士(工学)			
	インターンシップ			インターンシップ			インターンシップ				
兼任	講師	A. B. Jenkins (41) <令和4年4月> Bachelor of Arts (languages) (オーストラリア)	兼任	講師	A. B. Jenkins (41) <令和4年4月> Bachelor of Arts (languages) (オーストラリア)	兼任	講師	A. B. Jenkins (42) <令和4年4月> Bachelor of Arts (languages) (オーストラリア)			
	Advanced English 1 General English 1 Advanced English 2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4 英語コミュニケーション			Advanced English 1 General English 1 Advanced English 2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4 英語コミュニケーション			Advanced English 1 General-English-1 Advanced English 2 General English 2 Advanced-English-3 General English 3 Advanced-English-4 General-English-4 英語コミュニケーション				
兼任	准教授	小土橋 陽平 (38) <令和4年4月> 博士(工学)									
	物理学1										
兼任	准教授	牧野 育代 (51) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	牧野 育代 (51) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	牧野 育代 (52) <令和4年4月> 博士(工学)			
	微分方程式 微分積分/演習A			微分方程式 微分積分/演習A			微分方程式 微分積分/演習A				
兼任	准教授	高野 敏明 (36) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	高野 敏明 (36) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	高野 敏明 (37) <令和4年4月> 博士(工学)			
	コンピュータ構成概論			コンピュータ構成概論			コンピュータ構成概論				
兼任	准教授	谷口 ジョイ (46) <令和4年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	谷口 ジョイ (46) <令和4年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	谷口 ジョイ (47) <令和4年4月> 博士(学術)			
	Advanced English 1 General English 1 Advanced English 2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4			Advanced English 1 General-English-1 Advanced-English-2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4			Advanced English 1 General-English-1 General-English-1 Advanced-English-2 General English 2 Advanced English 3 General-English-3 Advanced English 4 General-English-4				
兼任	准教授	R. G. McNabb (64)(高) <令和4年4月> 文学修士	兼任	准教授	R. G. McNabb (64)(高) <令和4年4月> 文学修士						
	Advanced English 1 General English 1 Advanced English 2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4			Advanced English 1 General English 1 Advanced English 2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4							
兼任	准教授	松田 崇 (47) <令和4年4月> 准学士	兼任	准教授	松田 崇 (47) <令和4年4月> 准学士						
	芸術論			芸術論							

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	紀ノ定 保礼 (35) <令和4年4月> 博士(人間科学)	兼任	准教授	紀ノ定 保礼 (35) <令和4年4月> 博士(人間科学)	兼任	准教授	紀ノ定 保礼 (36) <令和4年4月> 博士(人間科学)			
		心理学			心理学			心理学			
			兼任	准教授	佃 諭志 (43) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	佃 諭志 (44) <令和4年4月> 博士(工学)			
					物理学1			物理学1			
			兼任	講師	四宮 友貴 (31) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	四宮 友貴 (32) <令和4年4月> 博士(工学)			
					インターネットと情報倫理			インターネットと情報倫理			
						兼任	准教授	本良 瑞樹 (40) <令和5年4月> 博士(工学)			
								プログラミング応用			
						兼任	講師	日田 泰和 (37) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)			
								General English 1 General English 2			
						兼任	教授	吉見 直人 (60) <令和5年9月> 博士(工学)			
								工業材料とその性質			
						兼任	講師	藤川 祐介 (37) <令和5年9月> 博士(理学)			
								応用数学			
			兼任	特命講師	加藤 昌樹 (61) <令和5年9月> 工学士			理工系教養の数学			
兼任	講師	秋山 憲治 (68) <令和7年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	秋山 憲治 (68) <令和7年4月> 博士(人間科学)	兼任	講師	秋山 憲治 (68) <令和7年4月> 博士(人間科学)			
		現代生活論 社会学			現代生活論 社会学			現代生活論 社会学			
兼任	講師	太田 達見 (65) <令和7年4月> 博士(工学)	兼任	講師	太田 達見 (65) <令和7年4月> 博士(工学)	兼任	講師	太田 達見 (65) <令和7年4月> 博士(工学)			
		建築の技術と文化			建築の技術と文化			建築の技術と文化			
兼任	講師	関山 秀雄 (68) <令和6年4月> 博士(理学)									
		応用数学									
兼任	講師	佐藤 彰 (65) <令和7年4月> 博士(工学)	兼任	講師	佐藤 彰 (65) <令和7年4月> 博士(工学)	兼任	講師	佐藤 彰 (65) <令和7年4月> 博士(工学)			
		環境と新エネルギー			環境と新エネルギー			プログラミング応用 環境と新エネルギー			
兼任	講師	佐藤 健司 (65) <令和6年4月> 工学修士	兼任	講師	佐藤 健司 (65) <令和6年4月> 工学修士	兼任	講師	佐藤 健司 (65) <令和6年4月> 工学修士			
		建築の技術と文化			建築の技術と文化			建築の技術と文化			
兼任	講師	丸田 誠 (65) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	丸田 誠 (65) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	丸田 誠 (65) <令和6年4月> 博士(工学)			
		建築の技術と文化			建築の技術と文化			建築の技術と文化			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	講師	R. G. McNabb (65) <令和5年4月> 文学修士	兼任	講師	R. G. McNabb (65) <令和5年4月> 文学修士						
		Advanced English 1 General English 1 Advanced English 2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4			Advanced English-1 General English 1 Advanced English-2 General English 2 Advanced English 3 General English 3 Advanced English 4 General English 4						
兼任	特命准教授	大石 昌利 (64) <令和4年4月> 理学学士									
		基礎数学									
兼任	講師	金久保 正明 (59) <令和4年4月> 博士(工学)									
		インターネットと情報倫理									
兼任	講師	藤原 弘 (51) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	藤原 弘 (51) <令和4年4月> 博士(工学)						
		工業材料とその性質			工業材料とその性質						
兼任	講師	中川 伝一 (66) <令和4年4月> 学士(工学)									
		品質工学入門									
兼任	講師	石井 馨 (64) <令和4年4月> 医学士	兼任	講師	石井 馨 (64) <令和4年4月> 医学士	兼任	講師	石井 馨 (65) <令和4年4月> 医学士			
		健康の科学			健康の科学			健康の科学			
兼任	講師	石井 緑 (61) <令和4年4月> 保健衛生学士	兼任	講師	石井 緑 (61) <令和4年4月> 保健衛生学士	兼任	講師	石井 緑 (62) <令和4年4月> 保健衛生学士			
		健康の科学			健康の科学			健康の科学			
兼任	講師	王 彦 (52) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	王 彦 (52) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	王 彦 (53) <令和4年4月> 修士(教育学)			
		中国語1 中国語2			中国語1 中国語2			中国語1 中国語2			
兼任	講師	大鷹 紀信 (59) <令和4年4月> 商学士	兼任	講師	大鷹 紀信 (59) <令和4年4月> 商学士	兼任	講師	大鷹 紀信 (60) <令和4年4月> 商学士			
		財務システム入門			財務システム入門			財務システム入門			
兼任	講師	岡澤 裕子 (52) <令和4年4月> 理学博士	兼任	講師	岡澤 裕子 (52) <令和4年4月> 理学博士	兼任	講師	岡澤 裕子 (53) <令和4年4月> 理学博士			
		地球科学			地球科学			地球科学			
兼任	講師	上藤 一郎 (61) <令和4年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	上藤 一郎 (61) <令和4年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	上藤 一郎 (62) <令和4年4月> 博士(経済学)			
		経済学			経済学			経済学			
兼任	講師	金 兌柱 (67) <令和4年4月> 準学士(日本語)	兼任	講師	金 兌柱 (67) <令和4年4月> 準学士(日本語)						
		韓国語1 韓国語2			韓国語1 韓国語2						
兼任	講師	越水 重臣 (57) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	越水 重臣 (57) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	越水 重臣 (58) <令和4年4月> 博士(工学)			
		品質工学入門			品質工学入門			品質工学入門			
兼任	講師	小林 健吉郎 (66) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	小林 健吉郎 (66) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	小林 健吉郎 (67) <令和4年4月> 博士(工学)			
		化学			化学			化学			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	齋藤 正寛 (65) <令和4年4月> 工学士	兼任	講師	齋藤 正寛 (65) <令和4年4月> 工学士	兼任	講師	齋藤 正寛 (66) <令和4年4月> 工学士			
		コンピュータ入門 プログラミング入門			コンピュータ入門 プログラミング入門			コンピュータ入門 プログラミング入門			
兼任	講師	篠田 かおる (58) <令和4年4月> 教育学修士	兼任	講師	篠田 かおる (58) <令和4年4月> 教育学修士	兼任	講師	篠田 かおる (59) <令和4年4月> 教育学修士			
		基礎数学 微分積分/演習B			基礎数学 微分積分/演習B			基礎数学 微分積分/演習B			
兼任	講師	菅沼 義昇 (74) <令和4年4月> 工学博士	兼任	講師	菅沼 義昇 (74) <令和4年4月> 工学博士						
		プログラミング応用			プログラミング応用						
兼任	講師	杉田 玲子 (66) <令和4年4月> 学士(文学)	兼任	講師	杉田 玲子 (66) <令和4年4月> 学士(文学)	兼任	講師	杉田 玲子 (67) <令和4年4月> 学士(文学)			
		日本語表現法			日本語表現法			日本語表現法			
兼任	講師	高木 健治郎 (48) <令和4年4月> 学士(工学)	兼任	講師	高木 健治郎 (48) <令和4年4月> 学士(工学)	兼任	講師	高木 健治郎 (49) <令和4年4月> 学士(工学)			
		科学技術者の倫理			科学技術者の倫理			科学技術者の倫理			
兼任	講師	瀧本 厚子 (62) <令和4年4月> 教育学修士	兼任	講師	瀧本 厚子 (62) <令和4年4月> 教育学修士	兼任	講師	瀧本 厚子 (63) <令和4年4月> 教育学修士			
		スポーツ1			スポーツ1			スポーツ1			
兼任	講師	竹内 一博 (67) <令和4年4月> 工学博士	兼任	講師	竹内 一博 (67) <令和4年4月> 工学博士	兼任	講師	竹内 一博 (68) <令和4年4月> 工学博士			
		微分積分/演習			基礎数学 微分積分/演習 微分積分/演習A			基礎数学 微分積分/演習 微分積分/演習A			
兼任	講師	都築 博子 (51) <令和4年4月> 博士(国際関係)	兼任	講師	都築 博子 (51) <令和4年4月> 博士(国際関係)	兼任	講師	都築 博子 (52) <令和4年4月> 博士(国際関係)			
		国際関係論			国際関係論			国際関係論			
兼任	講師	中谷 広正 (70) <令和4年4月> 工学博士	兼任	講師	中谷 広正 (70) <令和4年4月> 工学博士	兼任	講師	中谷 広正 (71) <令和4年4月> 工学博士			
		ベクトル解析			ベクトル解析			線形代数/演習 ベクトル解析			
兼任	講師	中村 英治 (48) <令和4年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	中村 英治 (48) <令和4年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	中村 英治 (49) <令和4年4月> 学士(経済学)			
		財務システム入門			財務システム入門			財務システム入門			
兼任	講師	山下 浩司 (48) <令和4年4月> 修士(法学)	兼任	講師	山下 浩司 (48) <令和4年4月> 修士(法学)	兼任	講師	山下 浩司 (49) <令和4年4月> 修士(法学)			
		財務システム入門			財務システム入門			財務システム入門			
兼任	講師	西川 義晃 (47) <令和4年4月> 修士(法学)	兼任	講師	西川 義晃 (47) <令和4年4月> 修士(法学)	兼任	講師	西川 義晃 (48) <令和4年4月> 修士(法学)			
		暮らしのなかの憲法			暮らしのなかの憲法			暮らしのなかの憲法			
兼任	講師	古郡 康人 (69) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	古郡 康人 (69) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	古郡 康人 (70) <令和4年4月> 文学修士			
		文学			文学			文学			
兼任	講師	藤川 芳夫 (65) <令和4年4月> 修士(工学)	兼任	講師	藤川 芳夫 (65) <令和4年4月> 修士(工学)						
		理工系教養の課題研究			理工系教養の課題研究						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	牧野 正和 (55) <令和4年4月> 博士(学術)	兼任	講師	牧野 正和 (55) <令和4年4月> 博士(学術)						
		環境化学			環境化学						
兼任	講師	矢野 正俊 (75) <令和4年4月> 文学修士	兼任	講師	矢野 正俊 (75) <令和4年4月> 文学修士						
		文化と文明			文化と文明						
兼任	講師	村上 あつ子 (74) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	村上 あつ子 (74) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	村上 あつ子 (75) <令和4年4月> 修士(教育学)			
		理工系教養の英語			理工系教養の英語			理工系教養の英語			
兼任	講師	規矩 大義 (60) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	規矩 大義 (60) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	規矩 大義 (60) <令和6年4月> 博士(工学)			
		耐震工学			耐震工学			耐震工学			
兼任	講師	小濱 英二 (51) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	小濱 英二 (51) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	小濱 英二 (51) <令和6年4月> 博士(工学)			
		運輸施設工学			運輸施設工学			運輸施設工学			
兼任	講師	長縄 知行 (63) <令和6年4月> 学士(工学)	兼任	講師	長縄 知行 (63) <令和6年4月> 学士(工学)	兼任	講師	長縄 知行 (63) <令和6年4月> 学士(工学)			
		環境工学			環境工学			環境工学			
兼任	講師	横山 賢治 (45) <令和7年4月> 学士(理学)	兼任	講師	横山 賢治 (45) <令和7年4月> 学士(理学)	兼任	講師	横山 賢治 (45) <令和7年4月> 学士(理学)			
		環境保全工学			環境保全工学			環境保全工学			
			兼任	講師	Willam Sean Gibb (57) <令和4年4月> Bachelor of Arts (Political Science and English) (カナダ)	兼任	講師	Willam Sean Gibb (58) <令和4年4月> Bachelor of Arts (Political Science and English) (カナダ)			
					Advanced English 1 Advanced English 2 General English 1			Advanced English 1 Advanced English 2 General English 1 General English 3 General English 4			
			兼任	講師	市川 真矢 (61) <令和4年4月> 文学修士						
					General English 1 General English 2						
			兼任	講師	新谷 誠 (53) <令和4年4月> 博士(理学)	兼任	講師	新谷 誠 (54) <令和4年4月> 博士(理学)			
					線形代数/演習			線形代数/演習			
			兼任	講師	高林 秀次 (49) <令和4年9月> 博士(理学)	兼任	講師	高林 秀次 (50) <令和4年9月> 博士(理学)			
					生物学			生物学			
			兼任	講師	小林 久理真 (69) <令和4年9月> 工学博士						
					応用数学						
						兼任	講師	朴 喜貞 (53) <令和5年4月> 学士(理学) (韓国)			
								韓国語 1 韓国語 2			
			兼任	講師	山崎 一 (70) <令和5年4月> 高等学校卒						
								理工系教養の課題研究			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	梅田 泰 (49) <令和5年4月> 修士(英語学・教育学)			General English 1 General English 2						
兼任	講師	狭間 敏行 (47) <令和5年4月> 修士(文学)			General English 1 General English 2						
兼任	講師	田中 瑞枝 (41) <令和5年4月> 博士(文学)			General English 3 General English 4						
兼任	講師	吉田 寛 (50) <令和5年9月> 博士(文学)			文化と文明						
兼任	講師	天内 大樹 (43) <令和5年9月> 修士(文学)			芸術論						
兼任	講師	内藤 博敬 (55) <令和5年9月> 博士(学術)			環境化学						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の誕生日を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・中澤博志（専任）の担当科目を追加
- ・友次克子（兼任）の担当科目をWilliamSeanGibb（兼任）に変更
- ・牧野育代（兼任）の担当科目を竹内一博（兼任）に変更
- ・谷ロジョイ（兼任）の担当科目をWilliamSeanGibb（兼任）、市川真矢（兼任）に変更
- ・R.G. McNabb（兼任）の担当科目をWilliamSeanGibb（兼任）に変更
- ・紀ノ定保礼（兼任）の職位を変更
- ・小土橋陽平（兼任）の担当科目を佃諭志（兼任）に変更
- ・金久保正明（兼任）の担当科目を四宮友貴（兼任）に変更
- ・大石昌利（兼任）の担当科目を竹内一博（兼任）に変更
- ・三林雅彦（兼任）の担当科目を新谷誠（兼任）に変更
- ・奥村哲（兼任）の担当科目を高林秀次（兼任）に変更
- ・関山秀雄（兼任）の担当科目を小林久理真（兼任）に変更

【令和5年度】

- ・富永知徳（専任）の担当科目を追加
- ・足立雅樹（専任）就任月変更
- ・足立雅樹（専任）の担当科目を中澤博志（専任）に変更
- ・鈴木一史（専任）の担当科目を追加
- ・居波智也（専任）の担当科目を追加
- ・石田隆弘（兼任）の担当科目を富田寿人（兼任）に変更
- ・小栗勝也（兼任）の担当科目を十朱寧（兼任）に変更
- ・加藤智久（兼任）の担当科目を加藤昌樹（兼任）に変更
- ・感本広文（兼任）の担当科目を中澤博志（専任）に変更
- ・水野信也（兼任）の担当科目を中澤博志（専任）に変更
- ・友次克子（兼任）の担当科目を谷ロジョイ（兼任）、臼田泰如（兼任）、William Sean Gibb（兼任）、梅田泰（兼任）、狭間敏行（兼任）、田中瑞枝（兼任）に変更
- ・A.B. Jenkins（兼任）の担当科目を臼田泰如（兼任）、William Sean Gibb（兼任）、梅田泰（兼任）、狭間敏行（兼任）、田中瑞枝（兼任）に変更
- ・谷ロジョイ（兼任）の担当科目をWilliam Sean Gibb（兼任）、田中瑞枝（兼任）に変更
- ・R.G. McNabb（兼任）の担当科目を谷ロジョイ（兼任）、臼田泰如（兼任）、William Sean Gibb（兼任）、梅田泰（兼任）、狭間敏行（兼任）、田中瑞枝（兼任）に変更
- ・松田崇（兼任）の担当科目を天内大樹（兼任）に変更
- ・藤原弘（兼任）の担当科目を吉見直人（兼任）に変更
- ・金兌柱（兼任）の担当科目を朴喜貞（兼任）に変更
- ・菅沼義昇（兼任）の担当科目を佐藤彰（兼任）、本良瑞樹（兼任）に変更
- ・竹内一博（兼任）の担当科目を加藤智久（兼任）に変更
- ・中谷広正（兼任）の担当科目を追加
- ・藤川芳夫（兼任）の担当科目を山脇一（兼任）に変更
- ・矢野正俊（兼任）の担当科目を吉田寛（兼任）に変更
- ・市川真矢（兼任）の担当科目を谷ロジョイ（兼任）、臼田泰如（兼任）、梅田泰（兼任）、狭間敏行（兼任）に変更
- ・小林久理真（兼任）の担当科目を脇川祐介（兼任）に変更
- ・牧野正和（兼任）の担当科目を内藤博敬（兼任）に変更
- ・本良瑞樹（兼任）、臼田泰如（兼任）、吉見直人（兼任）、脇川祐介（兼任）、加藤昌樹（兼任）、朴喜貞（兼任）、山脇一（兼任）、梅田泰（兼任）、狭間敏行（兼任）、田中瑞枝（兼任）、吉田寛（兼任）、天内大樹（兼任）、内藤博敬（兼任）を科目担当に追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
5	3	0	0	8	0	4	3	0	0	7	0
(3)	(1)	(0)	(0)	(4)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
5	3	0	0	8	0	5	3	0	0	8	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授、准教授 65 講師、助教 60 歳	0	0
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	-	-	-	-	-	-	-			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	-	-	-	-	-	-	-			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	-	-	-	-	-	-				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	<p>【A-C】 教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (改善)</p>	<p>—R4年度入学生向け— 【学生募集の取り組み状況、結果】 ○収容定員の増加に係る学則変更の認可がおりた8月末から本格的に募集活動を開始した。 ○新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、一部制限を掛けつつ、学生募集活動をおこなった。 ○「大学見学会」「オープンキャンパス」は、前年の経験を踏まえ、実施学科、時間帯、参加学年、参加人数による制限を設けた「学校開催版」と動画配信を中心とした「WEB版」のハイブリッド型で実施した。 >計5回のオープンキャンパス(学校開催版)では延べ357名 >7回の大学見学会(学校開催版)では延べ392名 >静岡県内及び東海地域を中心とした高校訪問(計145回) >高校での進学ガイダンス(計131回) >会場ガイダンス(計56回) ○県内のみならず、近隣県もターゲットに、土木工学科の開設を訴求するWEBツールや進学媒体等を駆使して活動した。 ○土木工学科PR用のリーフレットを製作し配布した(2万部) ○高校教員対象説明会にてR4年4月開設予定土木工学科(仮称)の概要について説明を行った。 ○学長、土木工学科設置準備室(教員)が県内高校(計23校)の校長及び進路担当者を訪問し、新設される土木工学科の学びの特色や就職先などについて説明を行うなどPR活動を行った。 【入試結果】 ○開設初年度である令和4年4月の入学者数は31人(入学定員充足率62%)となった。志願者数は162名、志願倍率3.2倍で、歩留率0.26であった。 【入試対策と対応策】 ○学校推薦型選抜の志願者拡大・入学者の確保が課題 ⇒志願者拡大のため、対象とする普通高校等への情報発信力を強化する。 ○募集対象年次生の減少期、大規模有名大学志向や地方国立大学の低志願倍率などの影響もあり、合格者の歩留率が想定以上に低くなり、入学定員を大幅に割り込む結果となった。 ⇒併願校との競合の激化に対し、志願者動向把握や土木工学科の魅力への訴求向上させる。 【学生募集分析と対応策】 ○要因は、高校生に対して本学で土木工学を学ぶことの魅力を伝え切れなかった点が挙げられる。行政を含めた社会ニーズは依然として高い分野であり、工学的観点から、まちづくりや防災・減災に貢献できる内容を学ぶ学科であることが伝えきれない。 ○中学生、高校生にとっては、土木工学科の就職先が工事現場の作業員のイメージを持たれていいる事例も多いため、正しい職業理解を目的としたイベントの開催も中期的な視点で必要であると分析している。 ⇒行政(静岡とほくらぶ)と連携して、高校生への出前講座や学科紹介を行う。 ○オープンキャンパス、大学見学会いずれも事前予約制となったが、より関心の高い反応者の獲得に努めた結果、募集対象年次生の新規者の参加者があった。 ⇒コロナ禍の制限ある中、広報は効果的に情報媒体の露出やメディア・オンラインを活用し、会場ガイダンス等は県内を重点的に網羅する。 ○翌年完成する施設・設備面を活用してPR活動を図る。 —R5年度入学生向け— 【学生募集の取り組み状況、結果】 ○新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、一部制限を掛けつつ、学生募集活動をおこなった。 ○WEB開催と併せて対面型での計3回のオープンキャンパスでは延べ730名 >6回の大学見学会では延べ334名 >静岡県内及び東海地域を中心とした高校訪問(計312回) >高校での進学ガイダンス(計134回) >会場ガイダンス(計62回) を通じて志願者数の増加に努めた。 ○さらに建設分野(土木・建築)にスポットを当てたリーフレットを制作し、2万部配布した。 ○行政(静岡とほくらぶ等)と連携して、本学で、高校生向けの土木工学の魅力伝えるイベントを開催し、潜在的な進学希望者の掘り起こしを行った。 ○教育内容の充実を図るため、授業内容のオンデマンド配信を、対面授業の予習、復習にも取り入れ、さらに、教育の可視化のため、教員個々の授業に関する自己評価結果、及び学生の授業評価アンケート結果を全教員に開示するなど、本学の教育の質の向上に努めた。 【入試結果】 ○その結果、令和5年4月の入学者数は13人(入学定員充足率26%)に留まった。 ○令和5年度入学者選抜では、志願者数は142名、志願倍率2.8倍のため、前年の結果を考慮し、合格基準を見直したが、歩留率の減少(歩留率0.11)を予測できなかった。</p>	<p>—R6年度入学生向け— 【学生募集の取り組み方針】 ○学内の最高議決機関でもある学長を議長とする大学評議会において、学生募集活動に関する緊急推進体制を整え、同会議で学生募集を定例審議事項とし、情報共有、迅速な意思決定が可能な体制で取り組む。まずはコロナ禍により中断していた各種広報活動の充実についての見直しを行う。 ○試験種別での高校生の本学の情報入手方法を分析し、効果的な広報活動を検討する。 ○土木分野における高校生の魅力の検証を行い、職種イメージの改善を行う。 ○オープンキャンパスは事前予約での学科選択制から、コロナ禍前の複数学科エントリーを可能にするなど、多くの高校生に本学の魅力を伝えることができるように実施方法の見直しを行う。 ○完成した学科棟・実験棟を活用して、高校生・高校教員への接触機会を創出する。 ○広報活動における各媒体やイベントの機能や役割を明確にするなど広報分析を行う。 ○遠方地域をターゲットとした新たなオンラインイベント開催する。 ○歩留率向上のためのイベントを検討する ○静岡県内の土木工学科関連学科を有する工業高校と連携する。 ○静岡県工業高校校長会との連携を強化する。 ○志願者増加のため、選抜方法を見直し(総合型・給費奨学生選抜)、広報の方法やツールを検討し実行する。 ○志願者増加のため、指定校推薦に関して当該学科の枠を拡充する、被推薦資格を改定するなど入学者選抜に関する見直しを検討し、学生の確保を図る。 ○一般選抜系(一般・共通テスト)出願段階での歩留り向上のための広報ツールを検討、実施する。 ○競合校との差別化、本学での人材育成像や教育内容、将来の就職についてなど、本学の魅力を高校生にしっかりと伝える手法を再検討するなど、情報発信の強化に努める。 ○学部学科再編の検討を始め、静岡県内で唯一、建築学科、土木工学科を有する特徴を生かすための再編計画立案を開始する。 【学生募集の取り組み状況、結果】 >WEB開催と併せて対面型での計3回のオープンキャンパスでは延べ980名。 >計6回の大学見学会では延べ471名。来年2月も開催を予定している。 >静岡県内及び東海地域を中心とした高校訪問(計252回)一般選抜試験に向けて、現在各校訪問を実施している。 >高校での進学ガイダンス(計126回) >会場ガイダンス(計65回) ※全て12月時点の集計値 ○学長のリーダーシップのもと、大学評議会が中心となり、広報活動や学生募集について全学一丸となって推進する体制を構築した。毎月2回の会議にて学生募集活動に関する情報共有、迅速な意思決定を行っている。 ○受験生サイトをリニューアルし、情報を鮮度高く届け、サイト内回遊向上と離脱率改善を行った。 ○高校生への調査により、受験生の多数が、本学の情報をHPから収集すると分析から、学科HPを製作し、教育特色のPRを重視した。 ○「土木」の高校生の職種イメージ(現場作業員)を払拭するため、より本質的に「土木工学」にフォーカスし、イラスト等を用いて、「土木工学科」の魅力伝える広報を行った。 ○オープンキャンパスは、今年から、複数学科エントリーを可能とし、高校生との接触機会を増やす仕組みを導入した。 ○オープンキャンパスで、全ての教職員が同じコンセプトで高校生に対応できるよう、教職員研修会を実施した。 ○00等イベント、高校単独見学会での先輩講演、WEB版00での学生生活紹介動画などに本学学生を起用し、将来像や学生生活のイメージを想起させるなど内容を見直した。 ○完成した学科棟・実験棟を活用して、高校進路指導担当教員を招き、当年度の入試内容等について説明を行う高校教員対象説明会を開催した。 ○高校訪問や会場ガイダンス等による広報活動について、高校生との接触機会を増やし、効果的な情報発信ができるよう、対象校や訪問内容の見直しを行った。 ○遠方等をターゲットとしてオンライン大学見学会を4回実施した。 ○歩留率の向上を目的として、これまでの試験合格者及びその保護者を対象としたオリエンテーションを開催した。(12/26)以下全て12月時点の中間集計値となります。) ○静岡県内の土木工学科関連学科を有する工業高校(5校)の生徒及び教職員の来学イベントを計画 ○静岡県内の各工業高校校長を訪問し本学の教育・研究の特色を説明し、今後の連携を検討した。さらに工業高校長会を本学にて開催し、大学説明・学科紹介・施設見学会を実施し、本学の教育の特色等についてPRを行った。 【今年度の学生確保の状況(総合型選抜、学校推薦型選抜)】 ○総合型選抜では、受験者(実人数)17人、合格者(実人数)17人であった。学校推薦型選抜では、受験者(実人数)21人、合格者(実人数)21人となっており、現時点で、受験者、合格者ともに過去2年を上回っている。今後、歩留率向上、一般選抜での受験者・入学者確保に努める。</p>

		<p>【入試分析（過去2年）と対応策】 ○普通高校からの志願者が少なく、安定した学生確保に繋がっていない。 ⇒志願者拡大のため、総合型と学校推薦型を含めて制度構築・見直しを行う。 ○一般選抜での志願者が少ない。 ⇒推薦型制度の普及と併せて広報の見直しを行う。 ○歩留率が減少した理由として、過去2年の入学者アンケートにおける併願校調査では、国公立大学や関東圏の大規模大学が多く、併願校との競合の激化が挙げられる。 ⇒本学の魅力を多面的に伝えていく施策、伝えるべき内容の整理を行う。</p> <p>【学生募集分析（過去2年）と対応策】 ○新設した土木工学科棟及び実験棟の完成が開校後の1年目の10月末だったこともあり、年度後半での施設・設備面でのPRを行ったが、年度前半での募集・広報活動において使用できず、出遅れたことも影響していると分析している。 ⇒生徒や高校教員との接触機会を創出するため、施設活用して広報方法の拡充を行う。</p> <p>【2年間の取り組み総括】 ○志願者動向に対応した入試の展開が必要。 ⇒入試制度を見直し、年内での入学者増加に重点を置きつつ、一般選抜志願者層への浸透を図る。 ○高校生に魅力ある土木工学科の訴求が必要 ⇒「土木」の職種イメージの払拭、「土木工学」の魅力にフォーカスする広報を行う ○潜在的なニーズの掘り起こしが必要。 ⇒県内の工業高校と連携して、中学生や高校生への広報活動を通して、広く「土木工学」についての周知する機会を創出する。</p>	
--	--	--	--

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部 土木工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育のあり方等を検討する教育部会とその下の組織であるFD推進小委員会にて、FD活動について研修等を行う。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教育部会は、教育に関わる委員会の委員長等で構成され、年間で11回開催している。土木工学科の教員1名が、部会長の指名による委員として参加している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 教育の指針（3つのポリシー）にもとづいた教育評価、学修の成果の可視化の検討と状況調査
- ・ 教育システム（初年次教育、アクティブラーニング、アドバンス教育、副専攻制度）の実施、調査
- ・ 公開授業の実施、ベストティーチャーの選考、FD（教育シンポジウム）の実施、授業改善アンケートと評価の実施
- ・ カリキュラムの取りまとめ、TA把握、オフィスアワーの実施、学生成績(GPA)の把握、進級・退学状況分析

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業公開を、前期と後期にそれぞれ2週間実施する。あわせて、ベストティーチャーを選出する。
- ・ 授業方法等についての教育シンポジウムを開催する。
- ・ 新任教員のための研修会を開催する。

b 実施方法

- ・ 教育部会で、実施内容の詳細を検討、決定し、教授会等で開催について報告する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 4月着任の新任教員の研修を実施している。新任教員全員が参加している。
- ・ 授業公開を、6月と11月にそれぞれ2週間行う。
- ・ 授業改善に関するFD（教育シンポジウム）を、年4回実施する。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業改善アンケートをもとに、各教員が授業の自己評価を行い、学長に報告する。学長、学部長が授業改善アンケートの結果とあわせて授業改善の状況等について評価し、改善に向けての助言等を行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 7月(前期末)及び1月(後期末)の年2回、授業改善アンケートを、原則として全教科で実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業アンケートの集計結果をホームページで公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

新設学科における教育の目的、養成する人材像などの新設学科の趣旨や、アドミッションポリシーを示して、学生募集を実施し、入学定員の約3.2倍の志願者があったが、入学定員50名を下回る31名の入学生を迎えて、授業等の教育活動を計画通り開始した。

令和4年4月の開設にあわせ、教員は計画通り着任し、研究活動の準備に着手している

施設・設備については、新設学科の新校舎ならびに実験棟を、計画通り令和4年10月竣工予定で、建設中である。什器や実験設備等も建物竣工後に設置できるように準備を進めている。

授業科目の担当者について、Ⅲ類（学科専門科目）科目は計画通り実施しているが、Ⅰ類（人間・文化科目）科目とⅡ類（学部共通専門基礎科目）科目については、学部共通でのクラス編成の変更及び、担当授業科目の見直しにより、新設学科の科目を担当する兼任教員と兼任教員の一部に変更があった。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年3月16日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に評価機関（日本高等評価機構）の受審済。次回は令和10年度の評価を受ける計画である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

- d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

静岡理工科大学教育部会規程

平成13年	6月13日	制定
平成20年	5月26日	改正
平成23年	3月22日	改正
平成25年	9月26日	改正
平成29年	3月28日	改正
平成30年	8月25日	改正

(目 的)

第1条 静岡理工科大学（以下「本学」という。）に、学部・大学院教育の方針策定並びに充実・推進を図るために、教育部会（以下「部会」という。）を置く。

(組 織)

第2条 部会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 理工学研究科運営委員長
- (3) 教務委員長
- (4) 教育開発センター長
- (5) 高・大一貫教育委員長
- (6) 学務課長
- (7) その他部会長の指名した者

(任 期)

第3条 前条第1号から第4号までの委員の任期は2年とし、再任を妨げない。なお、欠員により補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長及び副部会長)

第4条 部会に部会長と副部会長を置く。

- 2 学長は、学部長の中からいずれか一方を部会長、他方を副部会長部として選任し、大学評議会の議を経て委嘱する。

(会 議)

第5条 部会長は、部会を招集し、その議長となる。

- 2 部会は、委員の2分の1以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(所掌事項)

第6条 部会は、次の事項を審議し、推進する。

- (1) 本学の教育方針の策定に関する事項
- (2) 学部及び大学院の教育体系の管理に関する事項
- (3) ファカルティ・ディベロップメントの推進に関する事項
- (4) その他、学部及び大学院の教育内容の充実・推進に関する事項

(事務)

第7条 部会の事務は、事務局学生事務部学務課が行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、部会の運営等に関し必要な事項は、部会が定める。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃手続きは、部会の議を経て、大学評議会が審議する。

附 則

- 1 この規程は、平成13年 4月 1日から施行する。
- 2 静岡理工科大学カリキュラム委員会規程（平成10年 5月14日施行）は廃止する。

附 則

この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年 9月26日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年 9月 1日から施行する。